

令和4年度 福井県介護職員負担軽減支援事業補助金（障がい福祉分野）（令和4年度第二次補正予算分）を利用し、移乗介護ロボット「床走行リフト マキシツイン低床」を導入しました。 利用者支援の向上、職員の業務負担軽減に役立っています。

納入日：令和5年5月22日（月）

納入場所：九頭竜ワークショップ しずかの郷

納入品名：床走行リフト マキシツイン低床

納入台数：1台

納入物品



操作説明 . . . （納入実績があるため）操作説明なし

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和4年度第二次補正予算分)
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

自治体名 福井県

【基本情報】

Table with 2 columns: Field (フリガナ, 法人名, etc.) and Value (シャカイフクシホウジンクスリユウコウセイギョウタン, etc.)

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

- 機器の種類: [x] 移乗介護 [] 排泄支援 [] 入浴支援 [] 移動支援 [] 見守り・コミュニケーション

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

Table with 7 columns: 業務内容, A.業務従事者数, B.ひと月当たり, C.年間発生件数(Bx12), D.1件当たりの平均処理時間(分), E.人時間(AxCxD), 1人あたり業務時間(CxD/A)

- ※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

①移乗介助: [利用者1人当たりの回数/日] x [対象利用者数] x [30日間]
-> 8回 x 10人 x 30.4日 = 2,450件

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①移乗介助: ベッド上臥位から車椅子への移乗介助にかかる時間の実測値(2人介助)
-> 10分 x 2人 = 20分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

Table with 7 columns: 業務内容, A.業務従事者数, B.ひと月当たり, C.年間発生件数(Bx12), D.1件当たりの平均処理時間(分), E.人時間(AxCxD), 1人あたり業務時間(CxD/A)

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

①移乗介助: [利用者1人当たりの回数/日] x [対象利用者数] x [30日間]
-> 8回 x 10人 x 30.4日 = 2,450件

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①移乗介助: [ベッド→車椅子の場合] リフトの準備、ベッド上臥位でのスリングシートの設置、車椅子への移乗(リフト動作・体位保持等)、移乗後のスリングシートの除去・体位の整え、リフトの片付け等にかかる時間の実測値(1人介助)
-> 約17分 x 1人 = 17分

年間業務時間数想定削減率(%)

15.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

- ①使用時間が重なるため、業務を見直し、効率良く使用する必要がある。
- ②機械操作について、研修および定期的なチェックを行う必要がある。

--

(5)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円)	
職員の質上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--